

香童の柁

どっちなんだい？

清掃の様子を見て回りました。本校児童はとても静かに校内美化に取り組んでくれます。こんなに静かに清掃に取り組んでいる小学校はなかなかないんですよ。本校の良き伝統の一つです。そんな中、ある1年生が私に話しかけました。

「校長先生はいいな。」

「どうして？」

「だってお掃除しないで見てるだけなんだもの。暇そうでいいな。」

「じゃあ、校長先生になれば？」

「やだ！だって、いつも急がしそうなんだもん・・・。」

話しかけてもらえるのはとてもうれしいことなのですが、私は子ども達にどのように映ってるんでしょうね？

コンビニ？

県費非常勤講師の古郡ひとみ先生。実は剣道の達人、書道の達人です。よく気が利き、よく張りのある声と、よく口角の上がった笑顔で、子どもたちはもちろん、我々職員も元気にしてくれます。

ある日、私が6年生の授業を参観していると、隣の特別活動室からかすかな物音が。さらに耳を澄ますと、「あ、もっと切らなきゃ」という声。そうっと覗くと、古郡先生が紙で作られた人間の上半身モデルから、胃袋や小腸を取り出してはハサミを入れているのです。怖っ！... 恐る恐る

「何やってんの？」

と聞いたら古郡先生、

「この後すぐ6年生が理科で消化器の勉強するんで、急いで模型を作ってます」。

「... あ、ありがとうございます」。

ちなみに、廊下には古郡先生直筆のいろいろな作品が掲示してあります。古郡先生、何でも出来ちゃう先生です。

オオムラサキ観察会

壬生ファール会の方が来校して、理科の授業の一環として3年生のために出前授業を実施してくださいました。やはり実物は違いますよね。3年生の子ども達は興味津々、とっても楽しかったようです。でも私は、子ども達の反応がとっても楽しかったです。（エサの）パイナップルに群がるオオムラサキの写真を見ては「オー！」、幼虫の写真を見ては「オー！」、サナギの実物を見ては「オー！」、幼虫の実物を見ては「キャー！」、幼虫の盛んな食欲の話聞いてはまた「オー！」。まったくなんて素直に反応してくれるんでしょう。ホントにかわいい子ども達ですよ。

あとは、授業の目的「昆虫の完全変態」がちゃんと頭の中に残っているのを願うばかりです。

センターサーバー？

ある校長先生からお褒めの言葉をいただきました。「稲葉小に電話すると、いつもかわいくて丁寧な声が返ってきて気持ちいいねえ！」う～ん、これはセクハラではないですよ。それにしても、本校職員が誉められるのはうれしいものです。そして、今回誉められた張本人は、事務職員の川島久美子さんです。

川島さんは電話だけではありません。来客があると間髪を入れずに湯茶の接待もしてくれます。これがまたおいしいんです。さらに、出勤してからはほとんど職員室から離れることなく学校事務の仕事をしているので、学校内外の様々な情報が川島さんに集積され、職員室に戻った関係職員や来校者に漏れなく伝達されていきます。いわば本校のセンターサーバーです。川島さん、これからも学校内外に向けての本校の顔として、よろしくお願いします。